

ヘルスメイトの おしゃべりコーナー

大豊町食生活改善推進協議会が 厚生労働大臣表彰を受賞しました！



大豊町食生活改善推進協議会は、昭和 53 年に発足以来、地域の皆さまにご協力いただき、今年で 34 年目を迎えることができました。

このたび、その活動が認められ、栄養関係功労者として厚生労働大臣表彰をいただきました。

発足当時から、活動が続けてこられたヘルスメイトの先輩方、また、地域のみなさまのご理解とご協力があればこそと、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ヘルスメイトは今回の受賞を励みに、今後も活動してまいりますので、よろしく願いいたします。

ヘルスメイトの活動紹介



大杉小学校夏休み放課後子ども教室での料理教室



90 歳以上の方へお弁当を配達する「すこやか弁当」



子育てサークルよちよちでハロウィンお菓子作り

問い合わせ先 大豊町食生活改善推進協議会（住民課健康づくり班）

交通安全ニュース

本山署交通課 アドバイザー 上池 ☎ 0887-76-0110
香美署交通課 アドバイザー 坂本 ☎ 0887-52-0110



年末年始の交通安全運動

平成24年12月10日(月)～平成25年1月9日(水)

今年も残すところ後わずかになりました。
一年を締めくくり、来る年を迎えるために、何かと気ぜわしいところです。
車の運転をする時は、時間と心に余裕を持つことを最優先に、スピードの出し過ぎによる事故を招かないようご注意ください。



運動の重点

1. 子どもと高齢者の交通事故防止
2. 飲酒・暴走運転の根絶
3. 自転車の安全利用の促進



12/17(月)
高齢者
交通安全の日

今月は、川口南を予定。65歳以上の方のお宅を、本山署、役場、母の会、交通指導員等で訪問させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。

安全な運転とは？

年齢を重ねるにつれて、反応時間や運転操作に遅れやミスが出てきます。事故を起こさないためには、何よりも速度を控えた運転が良いですが、低速過ぎると返って事故を招く恐れがあります。

慎重な運転を第一に、後続車両にも注意をはらい、後続車両が多くなってきたら、待避所に避け、道を譲ることで事故を防ぎましょう。



香美署管内連絡便

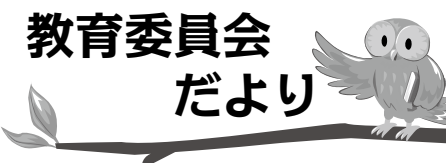
—お知らせ—
運転免許証
返納状況

昨年 …… 70件
今年 …… 77件
(11月1日現在)

高齢者の事故防止のため、運転免許証の返納が増えています。
寒くなってきましたので、体調を整えて安全運転を心がけてください。

中学生の活躍を紹介します。 各種入賞の皆さんおめでとうございます！！

今年も英語スピーチ・作文・書道・ロボットコンテストなど、いろいろな分野で中学生の皆さんが大活躍です。
今までの丁寧な取り組みが、結果につながり認められることで、達成感や自己肯定感が高まりますね。



第65回高知県中学・高校英語弁論大会

第3位 西村 珠里さん(1年) 都築 有紗さん(1年)

第10回高知県からくりロボットコンテスト(応用部門)

第3位 審査員特別賞 (チーム名) キンタロウ
森本 達也さん(3年) 小松 勇貴さん(3年) 山崎 隆太さん(3年)
阿波井貴人さん(2年) 仮谷 拓晃さん(2年)

南国税務署「税の作文コンクール」

南国税務署長賞 秋山 美穂さん(3年)
納税南国税務会長賞 藤原 凜太郎さん(3年)

全国書画展覧会(毛筆の部)

金賞 横山 尚史さん(2年) 釣井 香歩さん(2年)

介護の日作文コンテスト

最優秀賞 山中 雄真さん(1年) 優秀賞 藤原 凜太郎さん(3年)

森や自然についての子ども達の作文コンクール

山林協会長賞(山の大賞) 岡村 あずみさん(3年)

「ごはんとお米とわたし」作文コンクール

特選(中央会長賞) 岡村 あずみさん(3年)

青木幹勇記念第三回全国子ども俳句大会

優秀賞 又川 龍輝さん(1年) 岡村 あずみさん(3年)

歯・口の健康啓発標語コンクール

歯科医師会長賞 藤原 慧人さん(2年)



英語弁論大会で入賞した、西村珠里さん、都築有紗さん



からくりロボットコンテストの様子

森や自然についての子ども達の作文コンクール

【大豊町立大豊町中学校 三年 岡村 あずみさんの作文】

山のおくりもの

「自分達は孫の時代のために木を植えた。」
数年前まで山の仕事をしていた父は言います。
私の祖父は、父が小さな頃から山の仕事をしていました。父はその姿を見て、祖父の後を継ぎ、同じように山の仕事をしていました。山の仕事にもいくつかの種類がありますが、祖父と父がしていたのは、木を育てる仕事でした。
まず、木が伐採された山に苗木を植え、木が小さい頃には草を刈り、木の成長を見守ります。数年は草を刈らないといけないそうです。
そして数年後、木によって枝打ちをします。枝打ちをすると、節の無いきれいな木になります。
そしてまた数年たつと、間伐をします。間伐をすることによって、山に光が入り、木が成長しやすくなります。間伐をして光が入ることによって、雑木が生え、大きくなった木と共に地面に水をためます。そしてその水は、川や海へ流れたり、私たちの生活に使われたりします。その山のおくりものを大切にしている人たちがたくさんいます。祖母もその一人です。
祖母の家には数年前に水道が通りました。それまでは、水は山の上の森から長いホースを引いてきて使っていました。
もちろん、近所の人たちも一緒です。
自然の水は、山から湧き出ているため、大雨や日照りが続くと、水が来なくなります。だから、三十分位山を登って水を見に行きます。それは、祖父や祖母にとってはとても大変な仕事だと思っています。
水道が付いた今も、そのおくりものを大切に山からの水は引いています。山の水は触れると冷たく、透き通っています。それに、カルキが入っていないので、とても美味しいです。
私は、祖父や父たちが育てた山があるから、美味しい水や美味しい空気があるのだと思います。
そして、祖父が育てた木は今、私たちのために使われています。それと同じように、父の育てた木はきっと、私たちの子供たちのために使われるでしょう。
私は、山が好きです。なぜなら、山は私たちにたくさんのおくりものをくれるからです。そしてそれは、人々の生活を支え、豊かにしてくれるからです。
これからも、山がくれるたくさんのおくりものを守り、私たちの子供、そして孫へと受け継いでいきたいです。